

Let's Play Sports

最近の日曜祭日ともなれば、午後からのテレビ番組には、スポーツ番組が目白押しに並んでいます。

しかも、各番組とも視聴率は上々とのことで、全国的に見れば、かなりの数の人がテレビを通じてスポーツに親んでいるわけです。

テレビ観戦のよさは、たとえばウィンタースポーツであるアメリカンフットボールやラグビーを実際に見ようと思えば、寒風吹きすさぶ競技場に身を置かねばなりません、コタツに寝ころびセンベイでもかじりながら解説者つきで見られるわけです。

また、それぞれの競技の一流プレイヤーの妙技をまのあたりにしかも様々な角度から見られますし、半日のうちにラグビー・アイスホッケー・バレーボールのはしごなどという芸当もできます。

しかし、私はこの観るスポーツには何かものたりないものを感じます。

やはりスポーツはみずからそれに参加し、汗を流して楽しむことにより、より大きなよろこびが得られるように思われます。

私はたまたまバドミントンをやっている関係で、いくつかの町村の社会体育のお手伝いをする機会があり、バドミントン教室の講師をやったのですが、いずれも夜間という時間的制約があったにもかかわらず、当初予定していた以上の参加希望者があり、何人かの方はおことわりしたような状態でした。

私からはじめてラケットを握ったのは、もう10年以上前の

ことになりましたが、そのころはまだマイナースポーツだったバドミントン競技でさえも、このように愛好者が増えているということは、たしかにバドミントンがテレビでもとりあげられるようになったことにも一つの要因があるのかもしれませんが、スポーツ愛好者の多くが観る立場から参加する側に変わりつつあるということではないでしょうか。

しかし、地方に住んでいると、スポーツをやりたいと思っても、必ずしも希望どうりの種目をやれるとはかぎりませんし、施設や指導者の絶対数が不足しているのは事実だと思います。

私は現在でも、休日を利用して、週一回位はラケットを握り、シャトルを追いかけています。

最近では、社会体育の場として、既設の学校施設の開放や公立体育館の新設など、施設面ではスポーツ参加のチャンスは増えてきていると思います。

私自身、ここ数年間は試合に出る機会も少なくなりましたが、試合で対戦者と向かいあった時の緊張感是他のものでは得がたいものであると思いますし、勝敗はともかく(?) 試合を終えた後の充実感は何とも言えません。

また、試合が終わったあとで、チームメイトと語らいながらの一杯のビールの味はまた格別です。

みなさんも、コタツに寝ころびながらの観戦スポーツ愛好者から脱出して、近くのスポーツ教室やクラブにとびこんで、汗をながしてみませんか。きっと新しい発見があり、自分を見直すことができると思います。



試合終えて
足腰の痛さすがすがし
ビールのがさ
またこちよし

創 泉

(統計課・松下高輝)

【新着資料案内】

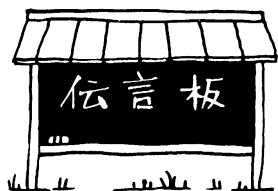
この資料は、昭和55年11月中に行政資料室に到着した主なものです。ご利用下さい。

行政資料室 付属庁舎4階 TEL 0292-21-8111(内線426)

行政資料名	発行所(者)	行政資料名	発行所(者)
中央官公庁関係		昭和54年版 鉱業便覧	資源エネルギー庁
昭和53年 事業所統計調査報告 別巻3	総 理 府	昭和54年版 運輸白書	運 輸 省
昭和53年 小売物価統計調査年報	〃	昭和55年版 都市交通年報	〃
昭和54年版 青少年白書	〃	昭和53年度 民鉄統計年報	〃
昭和55年版 観光白書	〃	昭和55年版 運輸経済統計要覧	〃
家計調査参考資料 第37号	〃	昭和53年度 郵政統計年報 郵便編	郵 政 省
昭和52年 全国物価統計調査報告 第9巻 小売調査解説編	〃	昭和53年 建築統計年報	建 設 省
第10巻 卸売調査解説編	〃	昭和54年度 河川管理統計	〃
昭和54年 貯蓄動向調査報告	〃	昭和54年版 建設白書	〃
昭和54年10月1日現在推計人口	〃	昭和55年版 地方財政統計年報	自 治 省
日本の人口 昭和50年国勢調査の解説	〃	茨城県関係	
昭和54年版 指定統計の調査票集録	行政 管理 庁	任 用 等 通 達 集	人 事 課
第76回 法人企業投資動向調査報告	経 済 企 画 庁	昭和53年度 主要施策の成果に関する報告書	財 政 課
昭和55年版 科学技術白書	科 学 技 術 庁	いばらきの水	水 資 源 対 策 課
利根川水系および荒川水系における水資源開発基本計画	国 土 庁	昭和54年度 広聴の記録 県民の声	広 報 課
昭和55年版 防災白書	〃	同和地区調査 調査必携	社 会 福 祉 課
昭和53年版 過疎対策の現況	〃	昭和55年版 業務概要	中 央 児 童 相 談 所
第27回事務年報	国 税 庁	昭和54年度 雇用保険業務概要	雇 用 保 険 課
昭和55年版 文部統計要覧	文 部 省	昭和54年度 第三期山村振興計画書 西茨城郡七会村	農 政 企 画 課
昭和53年度 学校基本調査報告書	〃	昭和55年3月 山村振興基本方針	〃
昭和53年度 文部省第106年報	〃	卸売市場体系整備の基本方向	流 通 園 芸 課
昭和54年版 厚生白書	厚 生 省	遊漁船等実態調査報告書(茨城海区編)	漁 政 課
昭和54年度 図説漁業白書	農 林 水 産 省	霞ヶ浦用水地区全体実施設計書 第1分冊	水 利 課
第6次漁業センサス 第1報～第9報	〃	茨城県建設工事元請、下請関係合理化指導要綱	監 理 課
昭和54年 専門的な農家の経営の継承、移譲等に関する調査報告書	〃	1978 茨城県教育要覧	教 育 庁 総 務 課
昭和53年 農家就業動向調査報告書	〃	昭和54年 交通白書	警 察 本 部 交 通 企 画 課
地方定住のための農林漁業者の就業機会の確保等に関する調査報告書	〃	県内市町村関係	
昭和54年度 図説林業白書	林 野 庁	1980 日立市の統計	日 立 市
昭和54年度 貿易業態統計表	通 商 産 業 省	土浦文化活動史編集資料 美術編	土 浦 市
昭和54年 化学工業統計年報	〃	住居表示、新旧(旧新)対照表	石 岡 市
昭和55年版 通商白書(各論)	〃	新庁舎完成記念誌 とよさと	豊 里 町
昭和52年 工業統計表 分布相関編	〃	都道府県関係	
昭和53年 工業統計表 品目編	〃	昭和54年 北海道家計調査結果報告書	北 海 道 統 計 課
〃 市町村編	〃	昭和53年度 秋田県県民所得統計	秋 田 県 統 計 課

【新着資料案内】

行政資料名	発行所(者)	行政資料名	発行所(者)
昭和54年版 賃金、労働時間および雇用の動き	福島県統計調査課	県経済の構造 一昭和50年島根県産業連関表一	島根県統計課
昭和54年版 環境白書	栃木県衛生環境部	昭和53年度 県民所得統計	山口県統計課
昭和54年版 栃木県統計年鑑	栃木県統計課	昭和53年度 岡山県の県民所得	岡山県統計課
ぐんまの商業	群馬県統計課	昭和54年度 長崎県法人企業統計調査結果報告書	長崎県統計課
昭和54年 毎月勤労統計地方調査年報	千葉県統計課	1980 かがしまのすがた	鹿児島県統計調査課
昭和54年版 東京都行政資料集録	東京都公文書館	昭和53年度 県民所得推計報告書	〃
昭和54年版 都民のくらしむき	東京都総務部	昭和50年 沖縄県産業連関表県経済の構造	沖縄県統計課
昭和54年 工業生産統計調査結果報告	神奈川県統計調査課	昭和54年 県内主要経済指標の動向	〃
昭和54年 大型小売店統計調査結果報告	〃	公社・会社・団体等関係	
1980 新潟県勢要覧	新潟県統計課	中小工業の立地環境と工場地域への住宅進出に関する経営者意識調査報告書	東京商工会議所
昭和55年版 石川100の指標	石川県統計情報課	下請中小企業の取引動向調査 一機械、金属関連業種一	〃
昭和53年 石川県統計書	石川県統計調査課	昭和54年版 原子力白書	原子力委員会
1980 統計からみた福井のすがた	福井県統計課	茨大地域総合研究所年報 第13号	茨大地域総合研究所
昭和54年版 給与と雇用と労働時間	〃	昭和54年産 葉たばこ生産統計表	日本専売公社
昭和53年度 県民所得統計報告	山梨県統計課	水海道地域商業近代化計画報告書	水海道地域近代化委員会
昭和54年 山梨県鉱工業生産指数	〃	日立市の経済動向 No.4	日立商工会議所
昭和55年 毎月勤労統計調査地方調査年報	大阪府統計課		
昭和54年版 毎月勤労統計調査総合報告書	和歌山県統計課		
昭和53年度 鳥取県県民所得推計報告書	鳥取県統計課		



国勢調査全国速報にみる
茨城県の人口趨勢は？

昨年12月19日に、昭和55年国勢調査による全国人口概数速報が公表されたことは、すでに新聞等でご存知のことと思います。全国総人口は1億1,705万7,485人。前回(50年)調査と比較すると、増加数511万7,842人(率4.6%)で戦後最低の増加率、また世界ではブラジルに抜かれ7位でした。

ところで、他都道府県と比較した本県の人口趨勢を見ると、総人口は255万7,903人で前回の14位から新潟、京都を抜いて広島について12位となり、世帯数は69万2,480世帯で14位から新潟を抜き京都について13位、1世帯当たり人数は3.69人で4位下って福島について8位、性比(女100人につき男)は99.0人で7位から大阪を抜き愛知について6位となり、1平方キロ当たり人口密度は420.02人で静岡について13位と変わりありません。

また、前回調査時からの人口増加は、実数(215,705人)が前回の11位から4位上り北海道について7位、増加率(4.6%)が8位から3位上り滋賀について5位であり、前回同様依然人口急増県の一翼を担っています。